



かわごえ



民児協だより

〔第73号〕

平成30年1月発行

川越市民生委員児童委員協議会連合会広報部会／川越市小仙波町2-50-2 川越市社会福祉協議会内 ☎049(225)5703・FAX049(226)7666



〈かがやき〉花々と共に慶ぶ明けの春

鈴木 宏志さん 撮影

明けましておめでとうございませう。

皆様方には、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今日、地域社会においては、住民同士のつながりは希薄化し、支援を要する人びとの福祉課題も多様化しております。また、外からは見えにくい社会的孤立や経済的困窮の方、児童虐待や認知症高齢者も深刻な状況にあります。

私達は、昨年の民生委員制度創設百周年を機に、常に人びとに寄り添い、献身的な活動をされた先達の想いを受け継ぎ、日々の活動を通して、地域の方に民生委員・児童委員の存在や活動についてご理解いただくよう努めてまいりました。

今後も福祉ニーズに応えるべく資質の向上を図り、「民生委員児童委員信条」を胸に、地域の方々のさまざまな声に耳を傾け、適切な支援につなぐパイプ役を担ってまいります。



川越市民生委員
児童委員協議会連合会

会長 芝波田 静香



昨年は異常気象が続ぎ、十月には市内でも台風二十一号に伴う浸水被害が発生しました。自治会をはじめとした地域ぐるみの取り組みの中、行政・関係機関・関係団体との連携協働の重要性を痛感しております。

また、災害時の要援護者指導においては、民生委員・児童委員が担う役割を確認すると共に、委員間の支え合いや民児協による地区委員への支援についても、改めて認識致しました。

民生委員・児童委員活動に関する新スローガンは、「支えあう 住みよい社会 地域から」でございます。

今後も、地域の方や関係機関と連携し、お互いを思いやり、共に支え合い助け合う地域づくりに携わってまいりたいと思っております。

結びに、皆様方のご多幸と、平穏な年でありますことをご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

新年を迎えてのあいさつ



社会福祉法人
川越市社会福祉協議会

理事長 小川倫勝



明けましておめでとうございませう。

民生委員・児童委員の皆様には、健やかに新春を迎えられたことと、心よりお慶び申し上げます。

また、日頃から川越市社会福祉協議会に對しまして、あたたかいご支援とご協力をいただいておりますこと、心から厚く御礼申し上げます。

今日の地域社会は、少子高齢化の急速な進行に伴い、高齢者の単身世帯高齢者だけの世帯の増加や、引きこもりによる社会的孤立、生活困窮、介護、子育てに対する不安など、既存の制度やサービスだけでは対応できない、様々な福祉ニーズが顕在化しています。

また、地域の結びつきや家族の絆が年々希薄化しつつある昨今、地域住民が主体となり、ともに支えあう地域福祉の推進が喫緊の課題となっております。

このような状況下において

地域住民に身近で、地域における生活課題の解決や生活支援活動にご活躍いただいております、民生委員・児童委員の皆様のご苦勞に對しまして、心より感謝申し上げます。

川越市社会福祉協議会といたしましては、地域福祉の中核的役割を担う団体として、多様化する福祉ニーズに柔軟に對応すべく地域福祉の推進に向け、民生委員・児童委員協議会をはじめ、各種の関係団体・機関等と連携を図り、地域に根ざした福祉の充実に向け、より一層取り組んでまいります。

民生委員・児童委員の皆様におかれましては、今までの上のおたのしみとご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、民生委員・児童委員の皆様のご健勝とご多幸とともに、貴会をますますのご発展をお祈り申し上げます。春のごあいさつといたします。

平成二十八年年度の「活動記録」報告より

平成二十八年年度の年間活動記録集計が報告されていますので、その内容を振り返って見ましょう。平成二十八年度は前年二十七年度と比較して「その他の活動件数」欄の「調査・実態把握」の件数、および「訪問件数」欄の「その他」の件数が大きく減少しておりますが、これは平

成二十七年実施の居住者カード作成の影響です。平成二十六年度の件数データを調べると、ほぼ同様な件数となります。

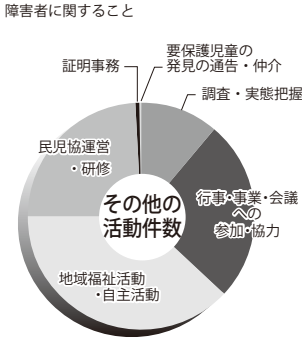
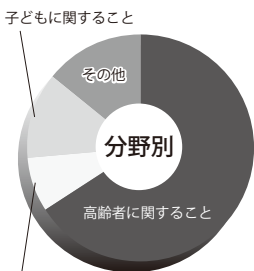
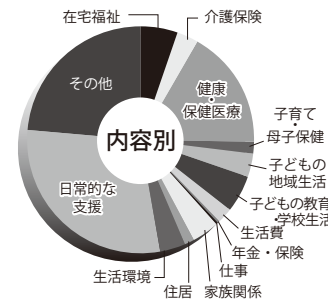
「活動日数」欄の「二人当たりの件数/月」は平成二十八年度と前年および一昨年度の間には大きな変動はなく、民生委員・児童委員の「二人当たりの件数/月」は十四日から十五日となっており、月の半分程度が活動日数と言え

そうです。「相談・支援件数」の内容別では「健康・保健医療」および「日常的支援」の件数が毎年多い傾向にあります。また分野別では「高齢者に関すること」が六十六%程度を占めております。今後益々高齢者数は増加の傾向であり、私たち民生委員・児童委員も、より一層適切な対応が出来る方策を考え、知識を深めていくことが必要になります。

平成28年度 活動記録 集計より

H28.4.1~H29.3.31時点
民生委員・児童委員 478人

| | 合計件数 | 比率 | 1人当たり件数/月 |
|-----------------|---------|--------|-----------|
| 在宅福祉 | 796 | 5.3% | 0.14 |
| 介護保険 | 479 | 3.2% | 0.08 |
| 健康・保健医療 | 2,562 | 17.0% | 0.45 |
| 子育て・母子保健 | 239 | 1.6% | 0.04 |
| 子どもの地域生活 | 509 | 3.4% | 0.09 |
| 子どもの教育・学校生活 | 797 | 5.3% | 0.14 |
| 生活費 | 310 | 2.1% | 0.05 |
| 年金・保険 | 52 | 0.3% | 0.01 |
| 仕事 | 66 | 0.4% | 0.01 |
| 家族関係 | 579 | 3.9% | 0.10 |
| 住居 | 205 | 1.4% | 0.04 |
| 生活環境 | 537 | 3.6% | 0.09 |
| 日常的な支援 | 4,374 | 29.1% | 0.76 |
| その他 | 3,525 | 23.5% | 0.61 |
| 計 | 15,030 | 100.0% | 2.62 |
| 高齢者に関すること | 9,901 | 65.9% | 1.73 |
| 障害者に関すること | 1,170 | 7.8% | 0.20 |
| 子どもに関すること | 1,850 | 12.3% | 0.32 |
| その他 | 2,109 | 14.0% | 0.37 |
| 計 | 15,030 | 100.0% | 2.62 |
| 調査・実態把握 | 8,302 | 11.3% | 1.45 |
| 行事・事業・会議への参加・協力 | 18,938 | 25.7% | 3.30 |
| 地域福祉活動・自主活動 | 28,168 | 38.2% | 4.91 |
| 民児協運営・研修 | 17,666 | 24.0% | 3.08 |
| 証明事務 | 458 | 0.6% | 0.08 |
| 要保護児童の発見の通告・仲介 | 129 | 0.2% | 0.02 |
| 計 | 73,661 | 100.0% | 12.84 |
| 訪問・連絡活動 | 71,973 | | 12.55 |
| その他 | 49,835 | | 8.69 |
| 計 | 121,808 | | 21.24 |
| 委員相互 | 39,553 | | 6.90 |
| その他の関係機関 | 24,200 | | 4.22 |
| 計 | 63,753 | | 11.11 |
| 活動日数 | 82,927 | | 14.46 |



地域の活動紹介

霞ヶ関北地区

中島眞利子

『地域ふれあい福祉まつり』
霞ヶ関北地区は、十四自治会の中より二十四名の民生委員・児童委員と二名の主任児童委員とで活動しています。永年、「餅つき大会」を行っていましたが、お餅を喉に詰まらせる危険性が有る為、餅つきを廃止しました。

本年度は十一月五日(日)

に霞ヶ関北公民館で開催されました。社協を中心に、自治会、民児協が協力して、「一人暮らし七十歳以上の高齢者」「障害のある方」をご招待して、豚汁等食事を楽しんでいただきました。自治会では、珈琲、フランクフルト、お汁粉等、軽食を販売し、民児協では、食事の配膳を担当したり、障害のある方への介助をいたしました。ご高齢者に於いては、日頃の見守りの成果でしょうか、民生委員との

会話を楽しんでいました。

また、健康コーナーを設け包括支援センターの方々、保健推進委員の協力による血管年齢測定、認知症テスト、健康相談等、ご高齢者の人気を集めていました。アトラクションとして、幼稚園児の合唱、けん玉演技と体験、手品、大学生によるサックス四重奏を楽しんでいただきました。自治会と民児協が協力し合うことは、この地域の抱える高齢者の様々な問題を解決する上で大きな力となります。



山田地区

小澤恵美子

楽しい元気会

「いもっこ体操クラブ元気会に声をかけてもらい入って良かった。お友達も出来たし、お話しする機会が

あなたなら
どうする？

寺尾の水害より

昨年10月に猛威を振るった台風21号の傷あととは、新年を迎えた今も高階寺尾第2・第3自治会地区に残されています。江川に排水する為のポンプ場の近くにある家のランダの柱には、2m近くの高さにテープで出水のしるしがありました。

「土台も随分高くしてたのにここまで来てしまった」「1階の必要な荷物はどうか2階へ持って上がることができ、それから半日以上、2階で飲まず食わずでいたが、やむにやまれずランダから用を足したことは非常につらかった」「取りあえず片付けましたが、臭いが消えず、子ども達の健康が心配です」「22日の夜11時頃玄関まで浸水、その後も増水し車もそのまままで...」「23日午前2時頃、布団が冷たく感じ、手を伸ばすとピチャピチャ水の音がして慌てて2階へ逃げたのよ。本当に怖かった。全部濡れてしまったのよ。私は83才、力も無いし、これからどうしたらいいやら...」皆さんの涙ながらの言葉が耳に残っています。



また、聞きとりの中には、「私より大変な人達が大量いるんでしょ。我慢しなくちゃー」という声もあり、お互い思いやりながら、助け合って生活されていることを知りました。

あつて楽しみになったわ、ありがとう。「月一回の配食の時のお一人暮らしの方の声です。こちらがとてもうれしくなりました。民生委員・児童委員として一人暮らしの方に何とかコミュニケーションをもてる機会がないか、運動する機会がないかと模索している日々があつたからです。元気会結成から四年、こんな声をきけるなんてとてもうれしいことです。元気会は平成二十五年十二月に発足。毎月第一・第

三木曜日に府川自治会館で年間計画により活動していきます。主な内容として、いもっこ体操・スクワット・片足立ち・タオル体操・早口言葉・後出しジャンケンなどです。また講師による健康講演会・会員の誕生会も重要なメニューです。年二回の体力測定では自分の体力と体操の効果の確認ができ、それがいつそうの励みとなって、継続への後押しスパイスです。運営は班グループにより月毎に担当し、会場準備、体操など



のリード、誕生会の準備進行など会員全員が関わっての会運営です。特に、誕生会では会話も弾み楽しそうな笑いが絶えないのです。楽しい元気会がずっと続きますように。

地区民児協だより

第一地区

井守理枝子

第一地区は本庁管内の北部に位置し、桜並木で知られる新河岸川が流れ、縁結びの氷川神社など、古い町並みが残っています。

七つの自治会から構成され、現在、民生委員・児童委員十一名、主任児童委員一名で活動しています。

月一回の定例会は、「民生委員・児童委員信条」の唱和から始まり、配布物や連絡事項の確認、部会報告などを行っています。

また、各制度やサービスの知識・情報を学習する場



親睦旅行から（那須にて）



一人暮らし高齢者の集いから

でもあり、包括支援センター、警察署、児童相談所など各関係機関より講師を招き、高齢者や障害者、児童問題等についてお話を伺ったり、近隣の介護福祉施設などを見学し、理解を深めるよう取り組んでいます。

会議は情報交換や質問、意見が発言しやすい雰囲気があり、先の改選で替わった新任者たちも自信を持って活動できるように、問題を共有し、話し合い、時に励まし支え合うよう努めており、委員の活動意欲向上に繋がっています。

昨年十一月には那須方面へ日帰り旅行し、紅葉の中間委員相互の親睦を一層深めることができました。二月には東松山市総合福祉エリアを視察し、発達障害について研修する予定です。

また地区社協と連携・協力し、一人暮らし高齢者を対象に弁当を届ける見守り活動や、年一回集いの会を開催したり、友愛訪問を行っています。その他、健康作り仲間作りのお手伝いとして全町内が健康体操教室を実施したり、子育てサロンを開催し未就園親子の交流の場となっています。

これからも、地域の方々の身近な相談相手として信頼関係を築けるよう、初心を忘れず日々努めてまいりたいと思います。

第四地区

筋野早苗

第四地区は、川越市役所周辺の大手町、郭町一丁目、郭町二丁目、元町一丁目、三久保町、久保町、松江町一丁目、松江町二丁目、杉下町、伊佐沼新町の十自治会で構成されています。地区内には、市立博物館、美術館、県立川越高校、川越城本丸御殿、やまぶき会館、成田山川越別院などが点在し、静かな住宅地と田園地



いも掘り交流会から

帯を含む地域です。民生委員・児童委員（男性二名含む）十名、主任児童委員二名の計十二名で活動しています。

定例会は、毎月第二金曜日午後一時より社協の方も参加していただき、今後の予定される事業、研修、会議等の内容確認、各部会メンバーからの活動報告、各サロン担当者からの報告を受けます。また、講師を招いた委員向け勉強会では、私達が知らなかった色々な知識を学び、吸収し、地域の人と共有して、喜んでいただけたらと思っております。

地区社協事業としては、「出会いの場づくり」「仲間づくり」「健康づくり」をモットーに活動しています。

す。そのひとつとして、高齢者サロンを開催して、認知症予防運動を積極的に取り入れて、地域の皆さんと体操と会話を楽しんでいきます。今年も、各サロン合同のバス二台で日頃の成果を確かめるべく、国会議事堂と皇居をいっばい楽しく歩いてきました。また、三回目となる「世代間交流事業」として、いも掘り交流会を十月二十九日に開催。当日は台風の影響もあり、あいにくの大雨でしたが、いも掘りを楽しみにしていた大勢の老若男女の皆さんが参加してくださり、早期から準備していた役員として、苦勞が報われた瞬間でした。

これからも人と人との繋がりを大切に、地域の身近な相談相手として、安心して暮らせる様に、一緒に考え支援できるように努めてまいります。



生きがい訪問

● 福原地区 ●

栗城 春夫さん



私が、高齢者として意識したのは、平成二十七年敬老の日に、市長より栄壽の感謝状を受けた時でした。

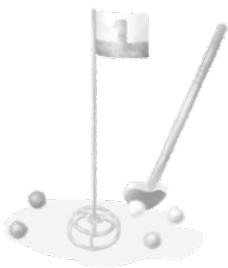
それまでは、惰性的に過して来ましたが、二十代後半に、電々公社へ現在のNITへ入社して以来、三十二年間勤務し、退職致しました。その時期に、ボーイスカウトのリーダーと知り合い、共に活動して来ましたが、

数々の指導者研修会等を受けて、大変参考になりました。野外を教場とし、三角布の適正な使用法、ロープの結索法等々大変参考になりました。その当時、地域の山岳会に入会し、関東管内の多くの山に登る事が出来ました。



遠くは、南アルプス立山連峰の雄山にも登頂出来た事でした。これ等の過去の経験が足腰の訓練と関係する事と思つて居ます。年令的に九〇才を過ぎ、健康に付いての反省点もありました。

今年の夏、グラウンドゴルフの開催中、ニラウンドが終つて休憩中、水分を取り過ぎるうちに、意識が薄れて身体を動かす事が出来なくなりました。これが熱中症かと、始めて経験しました。五分程して意識も大分回復し、救急車のお世話にならずに済みました。今後は年令と体調を考えて、ゲーム等に参加したいと思つて居ります。



● 川鶴地区地区 ●

山科 照之さん



転勤族だった私、四十代半ばにしてようやく、この吉田新町の地に落ち着いたのは、三十二年前のこと。現役中は、職場と我が家との往復のみで、地域との関りも妻任せでした。

六十にして太極拳に出会い、その数年後からは、近隣の公園での、地域の皆さんとの毎朝の練習。この練習が、今では私の生きがいとなつています。また、定年を機に、地域に少しでも恩返し出来るようにと、自治会活動などに積極的に参加し、地域との関わりを深めるようにしています。

毎朝の公園での太極拳は、「楽しく、健康で美しく」を目的として、約二時間のストレッチ体操と太極拳の練習です。十年ほど前に始めたときは三名でしたが、

口コミなどにより、今では百数十名になりました。「体が柔らかくなった」「バランスがよくなり転ばなくなつた」

「血圧が下がるなど、健康診断の数値が改善された」などと、太極拳仲間の言葉を聞く度に嬉しくなり、続けてきて良かったと幸せを感じています。

「皆さんに喜んでいただけることが私の喜び」を胸に、これからもボランティア活動を命の尽きるまで続けて行こうと考えている私です。



受賞

おめでとぅございませう。

【全国社会福祉大会】

厚生労働大臣表彰

磯部 郁子(高階)

西村 雅子(高階)

【全国民生委員児童委員大会】

全国民生委員児童委員連合会

会長表彰

松本富三(第二) 神山 初江(第二)

谷内 正代(第五) 市村 博子(第五)

神田みづ糸(第六) 山岸 富子(第七)

菊田 洋子(第八) 篠崎 貴子(第七)

貫井 壽子(第九) 山澄 啓子(第十一)

松岡三千代(野野) 江尻 旬子(南京)

小淵 考子(高階) 長谷川八重子(高階)

沖田 一枝(高階) 山内 早苗(高階)

仲 のり子(高階) 大野 明子(高階)

菊地しづ江(高階) 中島貞利子(高階)

【埼玉県社会福祉大会】

埼玉県知事表彰

菊地しづ江(霞ヶ関北)

【埼玉県民生委員・児童委員大会】

優良民生委員・児童委員協議会表彰

第二地区民生委員・児童委員協議会

永年勤続単位民生委員

・ 児童委員協議会会長表彰

岡田 育恵(第七)

民生委員制度創設百周年記念

永年勤続民生委員

・ 児童委員特別感謝

芝波田静香(高階)

田中 幸子(高階)

【川越市社会福祉大会】

会長表彰

神田みづ糸(第六)

川原 英子(第十)



霞ヶ関地区
神山裕一

霞ヶ関地区では、毎年八月の定例会に、県内視察研修を行っている。

今年もまた八月二十一日(月)に、草加市にある特別養護老人ホーム「アートフェリス」の施設見学を行った。

午前八時半に集合場所のJ A 霞ヶ関をバスで出発。関越自動車から外環に入り、草加インターチェンジで降りてほぼない所に施設はある。

電車でのアクセスもよく、東武スカイツリー線、獨協大学前を下車して徒歩四分のところにある。

施設の開設は、平成二十六年四月という事もあって、鉄骨造りの真っ白な六階建

の施設は周囲の環境に調和して、とても美しく、立派な印象を覚えている。

施設の概要は、特別養護老人ホーム・定員百四十七名、ショートステイ・定員二十名、デイサービス・居宅介護支援事業所を行う。また施設六階には、地域交流室と談話コーナーが兼備されている。

施設内に入ると、あまりの開放感に驚く。それもそのはず、この施設開設にあつたの理念がこうだ。

「特別ではない 養護でもない 普通の住まいを指して」とある。個を大切に、家庭の雰囲気大切に、した各部屋は、とても清潔感に溢れ、人のぬくもりを感じることができた。



特別養護老人ホーム「アートフェリス」



更に圧巻だったのが、各階備えつけの合計百三台のプロジェクトから映写される絵画、写真等の映像美術館である。季節毎に移りゆく自然美やお祭りなど集いあう人々の躍動感ほそれは見事な芸術であった。小一時間程の見学であったが、見学し終わった皆の口からこぼれる話は、



「施設に入るならこんな施設がいいな。」
そんなつぶやきだった。

主な市民児連関連活動予定

- 一月十七日 地区民児協正副会長及び部会長新年懇親会
- 二月五日 理事会
- 二月九日 主任児童委員研修(県主催)
- 二月二十一日 会長・副会長研修(県主催)
- 三月五日 理事会
- 三月十六日 役員及び部会長等合同会議
- 四月二日 理事会
- 四月二十六日 監査会、部会報告会
- 五月十二〜十八日 民生委員児童委員の日
- 五月二十日 第28回 ふれあい福祉まつり

お詫びと訂正

第七十二号に誤った記載がありましたので、お詫びし訂正します。
三頁、川鶴地区新会長名「市川富美子」は「市川富美子」です。

時の鐘

新年早々ですが、皆さんは誰かの為に救命講習を受けていますか？

「母が倒れた！」とご近所の方が我家のインターホンを押して飛び込んで来た。普段から見守りをし、そのご家族のことは周知していたが、突然のことで私は動揺した。とにかく救急へ通報し、現況を説明し処置を仰いだ。

救命講習は何度か受講し「強く、早く、たえまなく」と学んだはずなのに、実際目の当たりにすると、何をすべきか頭が混乱し、即座には的確な行動がとれませんでした。

家族や身近な大切な人の為に、機会がある毎に救命講習へ参加することの必要を強く感じた経験でした。

今年も皆様にとつて、穏やかな一年でありますように：

今号の編集担当者は伊東正晃・齋藤博和・宮崎富美子・羽鳥直儀・神山裕一・西村喜代治・安田桃子・久保田緑

